

(様式2)新規評価シート

建設部

砂防課

事業種類		治山・砂防		事業名		砂防(通常砂防)					
市町村名		青木村	ふりがな 箇所名	たてやが 立谷沢	きだち 木立	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H29 年度			
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)					
	全体	砂防堰堤工 1基 (1号堰堤 H=12m L=50m)			200,000	100,000		90,000	10,000		
	H25年度	測量・設計・調査 1式			15,000	7,500		6,750	750		
箇所評価	区分	集会所			評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)	
	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上 □ 1～9戸 □ 0戸						35		
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上 □ 1箇所 □ なし						25		
		保全対象に要援護者施設があるか	□ 重要施設有り □ 一般施設有り ■ なし						0		
		保全対象に避難所、避難経路があるか	■ あり □ なし						5		
		小計							65		
	重要性	過去の災害履歴	■ 過去20年以内に1回以上 □ 災害履歴地 □ なし						35		
		交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大 ■ 中 □ 小						20		
		防災計画上の位置づけ	■ あり □ なし □						30		
		小計							85		
	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C1.5以上 □ B/C1.0以上1.5未満 □ B/C1.0未満						65		
		事業効果の早期発現度(事業年数)	■ 5年未満 □ 5年以上10年未満 □ 10年以上						30		
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	□ 検討あり ■ 検討なし						0		
		小計							95		
	緊急性	地質・地形の状況	□ 地質が脆弱かつ地すべり地形 ■ 地質が脆弱 □ その他						20		
植生の状況		■ 無林地や倒木が多い □ 放置林 □ その他						15			
平均河床勾配		□ 10度以上 ■ 2度以上10度未満 □ 2度未満						20			
現況土砂整備率		■ 0% □ 0%より大50%未満 □ 50%以上						30			
小計								85	0.25		
計画 熟度	地域からの要望	■ 強い要望がある □ それほど高くない □ 特に要望ない						45			
	地元の協力	□ 協力が得られる ■ 概ね協力が得られる □ 現時点で得られていない						35			
	小計							80			0.15
費用対効果(B/C)		7.00		評価の合計					78		
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	立谷沢は、流域面積0.30km ² の土石流危険渓流Ⅰであり、渓床勾配は1/6と非常に急勾配である。保全対象区域には、避難所である木立公民館、人家14戸があり、一度土石流が発生すれば甚大な被害が予想される。よって砂防えん堤を整備し、土石流災害から人命財産を守り、民生の安定を図りたい。									
	地域からの要望経緯	平成25年3月13日に青木村より要望書が提出されている。									
	事業説明等の経緯	地元住民に対して土砂災害警戒区域の指定に関わる説明会を実施し、危険を周知してある。									
	環境・景観への配慮項目	堰堤の規模、位置等を勘察し、国道からの景観を損なわないよう配慮する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	土砂災害防止法指定済み。									
地域の合意形成	□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明				
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には避難所が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。				行政改革課 意見	平成22年度発生 of 豪雨時に近隣の沢で災害が発生。同様の地形・地質条件であることから、重要性、緊急性が認められる。					